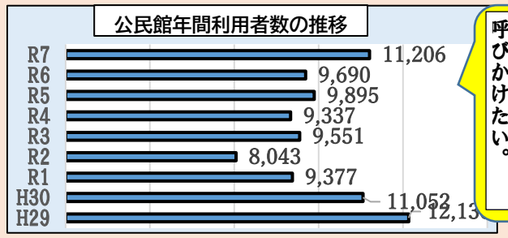
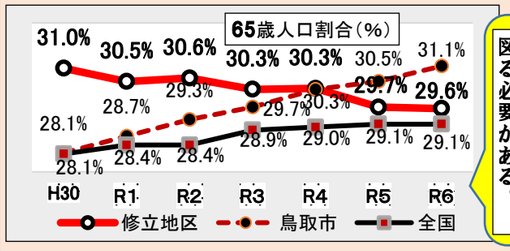
＜修立地区の地域課題＞

1 世代間交流の充実

- ➤公民館の利用者数やサークル数がなかなか増えない。
- ➤若年中高年層の力を活用する工夫が必要。
- ➤世代間の交流イベントを増やす必要がある。



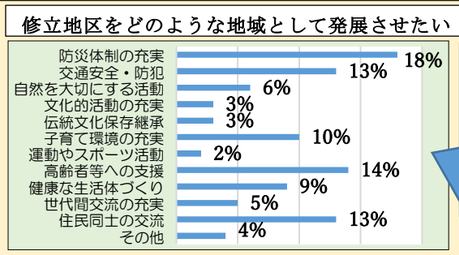
コロナ前の利用者数に回復しつつある。より一層多様な交流の場の提供を呼びかけたい。



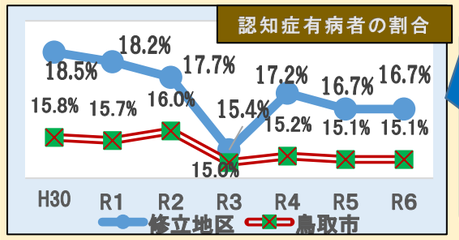
高齢者の割合が低く若年層の割合が高い特徴を活かした、世代間の交流を図る必要がある。

2 防災体制の整備

- ➤要介護認定者率・認知症有病者率が市平均より高い。
- ➤災害時の避難体制が未整備　➤団体間の連携必要
- ➤積雪時の防災体制が必要　➤自助共助の意識高揚必要。



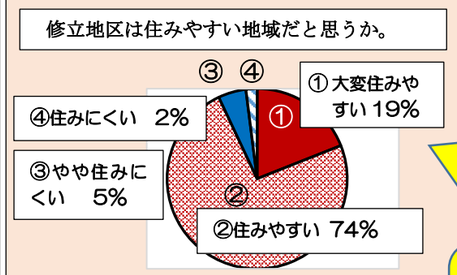
防災体制や安全な環境を求める人が多い。住民や高齢者等との同じる関士声も必要。



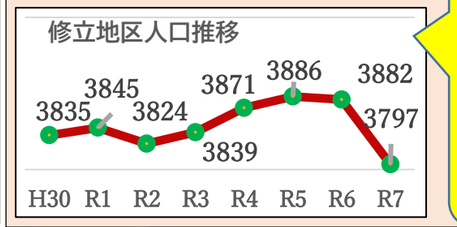
要介護・認知症有病者の割合が高い状況を改善する工夫が求められる。

3 地域資源の活用

- ➤空き家が増えてきた　➤地域人口や児童数が減少
- ➤世代間交流の機会減少　➤学習・遊び場が少ない
- ➤新規参加者増やす工夫　➤団体の組織改革が必要



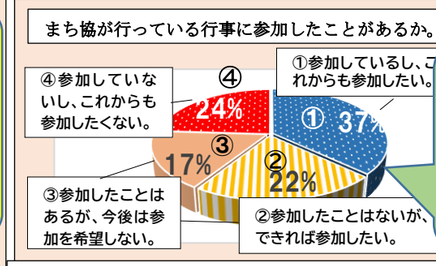
「住みやすい」と答えている人が九割以上ある。人的環境の豊かさにつなげていく必要がある。



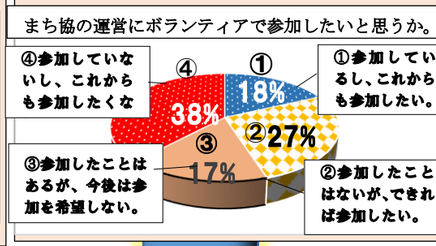
今後の人口動態は減少の一途。多くの人が住みたいまちづくりに関わるために、地域資源の掘り起こしと活用が必要。

4 住みやすい環境づくり

- ➤団体役員の長期化・固定化　➤子育て環境の充実必要
- ➤地域の文化財や特色を保存継承する取組み必要
- ➤事業やボランティアへの参画意欲を高める工夫必要



「参加しない」とした方たちをいかにして変えていくか、活動の意欲付けと広報のアイデアが求められる。



「ボランティアをしようと思う」と思う人は相当数ある。貢献意欲の掘り起こしと、活動の場の提供が求められる。

合言葉

「人口減」から「人交増」へ

目標

Well-being 修立

安全 安心 笑顔でつながる まちづくり

SDGs の目標

SDGsの 17 の目標のうち、修立地区の課題の改善解決に向けた3つの目標を採り上げた。

- 17 パートナーシップで目標を達成しよう
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 4 質の高い教育をみんなに



これまである事業や活動

- 各団体合同研修会
- 修立イルミネーション
- 世代間交流事業
- 文化祭
- 芋煮会
- 敬老会
- 互礼会
- 花いっぱい運動
- 避難訓練
- あんどん桜まつり
- 支え愛マップ
- エコクラブ
- 柿クラブ・学校サロン
- なかよしデイ活動
- 宿泊体験活動
- 麒麟獅子舞伝承学習

今後取組みたい事業や活動

- 登下校子供見守り隊
- 組織の再編
- ボランティアバンク
- スポ GOMI
- 修立地区防災計画
- 史跡巡りウォーキング
- 修立体操
- ふれあいカフェ
- 地域学校協働活動の連携事業
- 天神川のホタル
- ICT を活用した連絡・広報
- 桜並木の管理・更新

目指す住民像

皆とワイワイおしゃべりする機会があってありがたいし楽しいで。あんたも来んさいな。



地域の課題をみんなで話し合っていると、案外サクッと解決策が浮かんできます。本当に話し合いって大切だと思います。





修立は安全安心なまちなので、だれにとっても住み心地がいいですネ！



修立はみんながやさしく声をかけてくださる。この「つながり」を大切にして、子育てしやすい地域にしたいよね！



「もしも」の時に、みんなで助け合えるまちづくりにしたいネ。将来この修立で、みんなのために役立ちたいと思います！



天神川の桜並木は修立の宝だと思います。最近はホタルも飛んでいます。修立の未来は、修立のみんなでつくりましょう！私たちも手伝います！